



地震災害に 備えましょう

岡危機管理課 ☎(235)4790

4月、熊本県で震度7を2回観測する地震が発生。その後、近隣地域でも断続的な地震が続き、被害は広がりました。災害はいつどのような形で発生するのかわかりません。被害を最小限に食い止めるためには、一人一人の備えが大切です。ここでは地震災害に備え、家庭などで取り組める主な対策を紹介します。

情報を確認しておきましょう

○防災ガイドブック／防災マップ／洪水・内水ハザードマップ／土砂災害ハザードマップ
災害対策の意識啓発などを目的に全戸配布しています。

○防災アプリ
スマートフォンなどから無料でダウンロードできるアプリケーション。防災マップや、災害時の心得などを掲載しています。

○防災ラジオ
防災行政無線や緊急情報をお知らせ。通信料無料、有償頒布のラジオ。

○えびなメールサービス
事前に登録している方に情報をメール配信。登録希望の方は ebina.i@mpx.wagmap.jp に空メールを送信してください。詳細は「ト推進課」☎(235)4715へ。

連絡方法や 避難所を確認して おきましょう

家族との連絡方法や集合場所、避難所などを確認しておきましょう。

非常持ち出し品・備蓄品を 用意しましょう

避難場所まで生活することも想定し、非常時に持ち出すものをまとめておきましょう。



- 3日分以上の飲料水（1人1日3リットル目安）・食料
- ヘルメット・防災頭巾
- 懐中電灯・ラジオ
- 通帳・証明書類・印鑑・現金・健康保険証、住民票のコピー
- 救急用品・常備薬・毛布・電池・着替え・洗面用具など

食糧備蓄はローリングストックで

備蓄している食料を普段から食べ、消費した分を買い足す方法をローリングストック法といいます。非常食を定期的に消費し、購入すること、備蓄食料を常に新しい状態に保ちます。



家の中の安全対策と 家具の置き方を工夫しましょう

家具は転倒しないよう固定する



家具は、寝室や子ども、高齢者の部屋には置かない



安全に避難できるように出入り口や通路に物を置かない



窓ガラスには飛散防止フィルムを貼る

震度5弱以上の時は 安否確認フラッグで知らせて



安否確認フラッグは、救助隊や近隣住民に家の住人の無事を知らせるものです。震度5弱以上の地震発生後、家の住人全員の無事を確認した場合、各家ごとに玄関のドアノブなどに掲出します。

海老名市から 応急危険度判定士を派遣

大きな被害を受けた熊本県に、市から応急危険度判定士を派遣しました。応急危険度判定士は被災した建物を調査し、余震で建物の倒壊や外壁・窓ガラスの落下などの危険性を判定する専門職です。



▲家屋の傾きを測定

熊本地震義援金を 受け付けています

皆さんからお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて全額を被災地熊本県へ送ります。ご協力をお願いします。

【募金箱設置場所】

市役所・保健相談センター・中央図書館・有馬図書館・えびな市民活動センター・ピナレージ・海老名運動公園総合体育館・北部公園体育館

